

人権平和センター豊中

資料室ニュース

2020年9月号

編集：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会(豊中市委託事業)

〒561-0884 豊中市岡町北 3-13-7

電話：06-6841-5300 fax：06-6841-6655



新着図書案内

保健室のアン・ウニョン先生

著：チョン・セラン 訳：斎藤真理子 出版社：亜紀書房 発行年月日：2020/3/19

B6判：229ページ ￥1,600 ジャンル：文芸

養護教諭のアン・ウニョンが新しく赴任した私立 M 高校。この学校には原因不明の怪奇現象や不思議な出来事がつぎつぎとまき起こる。霊能力を持つ彼女は BB 弾の銃とレインボーカラーの剣を手に、同僚の漢文教師ホン・インピョとさまざまな謎や邪悪なものたちに立ち向かう。はたして M 高校にはどんな秘密が隠されているのか…。

私は真実が知りたい 夫が遺書で告発 「森友」改ざんはなぜ？

著：赤木雅子・相澤冬樹 出版社：文藝春秋 発行年月日：2020/7/15

B6判：200ページ ￥1,500 ジャンル：社会・ノンフィクション

衝撃を与えた週刊文春での手記公開。総理夫人らの関与を消すため行われた公文書改ざん。懊悩の末に死を選んだ近畿財務局職員の妻と、事件を追う記者が問いかける真相。

本書は、夫を理不尽に失った赤木雅子さんが国などを提訴、俊夫さんの手記の公開に至るまでの怒り、迷い、葛藤を率直に綴った「手記」と、事件を発覚当初から追いつけてきたジャーナリスト・相澤冬樹氏による「同時進行ドキュメント」で構成されている。

へいわってすてきだね

著：安里有生・画：長谷川義史 出版社：ブロンズ新社 発行年月日：2014/6/17

絵本：32ページ ￥1,400 ジャンル：絵本・児童書

いかなる理由があるにせよ、人々を殺し、傷つけることはまちがいです。6歳の少年の詩を長谷川義史が魂で描いた、沖縄発・平和へのメッセージ。

貸出状況

- ：「新型コロナウイルスの真実」「レイシャルハラスメント Q&A」「私は真実が知りたい」
- 「82年生まれ、キム・ジヨン」「ぼくはイエローでホワイトでちょっとブルー」
- その他、DVD「それでも夜は明ける」「パッチギ」など多数の貸出がありました。

健康で文化的な最低限度の生活⑨

著：柏木ハルコ 出版社：小学館 発行年月日：2020/6/30 B6判：208ページ
¥591 ジャンル：コミック・マンガ

生活保護ケースワーカーという仕事のやり甲斐と難しさをわかり始めた公務員・義経えみる。

入庁3年目の春を迎えた彼女が、新たに担当を引き継いだ受給者たちはみな、「オレンジパルム」という名の同じアパートに住んでいた。

この国の格差の凝縮である「住まいの貧困」に迫る「貧困ビジネス編」始動…!!

アメリカ白人が少数派になる日

著：矢部武 出版社：かもがわ出版 発行年月日：2020/5/2 B6：200ページ
¥1,800 ジャンル：政治・社会・労働

2045年、アメリカの白人はついに少数派になる。そのことへの恐怖心が、アメリカ白人をトランプ支持に駆り立てる。アメリカで共生社会は実現するのか？

人種問題をはじめアメリカ社会を30年以上にわたり取材してきたジャーナリストが放つ衝撃の書。

「無罪」を見抜く 裁判官・木谷明の生き方

著：木谷明 出版社：岩波書店 発行年月日：2020/3/17 文庫：431ページ
¥1,680 ジャンル：社会

起訴されたら有罪率が非常に高い日本の刑事裁判。一方で、死刑などの重大事件で、再審の結果、無罪となるケースも出てきている。在職中、いくつもの無罪判決を出し、そのすべてを確定させた裁判官は、いかにして無罪を見抜いたのか。被告人、証拠と向き合う姿勢、裁判官と検察の関係を率直に語る。現在の日本の司法制度を考える際に必読の書。

寄贈図書

「この世は落語」著：中野翠、「楽に生きるのも、楽じゃない」著：春風亭昇太、
「海峡を渡るバイオリン」著：陳昌鉉、「玄界灘に架けた歴史」著：姜在彦、
「大阪の教育行政」著：中西正人、「生活保護リアル」著：みわよしこ、
「あの日、『負け組社員』になった」「非正社員から正社員になる」著：吉田典史、
「『いない社員』はこう決まる」著：溝上憲文、「生活保護から考える」著：稲葉剛、
「医療の選択」著：桐野高明、「『働き方改革』の嘘」著：久原穩、
など多数の寄贈をいただきました、ありがとうございました。

資料室の利用方法

図書の貸出は1回につき原則3週間、5冊までです。期限は厳守してください。

貸出カードに名前、住所をご記入ください。電話、FAX、メールでも受け付けています。

連絡便での貸出・返却が可能です。貸出中の場合はご了承ください。

電話：06-6841-1313 FAX:06-6841-1310 mail:toyojinken@city.toyonaka.osaka.jp